



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療
先進医療の推進
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 馬場 一美
編集責任者 広報委員長 丸岡 靖史
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1
TEL 03-3787-1151(代表)
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHD/index.html>

新しく作られるお薬のお話し

美容歯科 診療科長 真鍋 厚史

皆様におかれましてはコロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスが世界的に猛威をふるい、はや半年を過ぎようとしています。しかしながら一向に終息が見えず日本でも試行錯誤している今日です。メディアではワクチンや治療薬の開発に研究者、製薬会社等が躍起になって取り組んでいるのは皆様もご存知だと思います。

さて、このような新薬が世の中で活躍できるようにする仕組みを皆さんはご存知でしょうか？当然のことながら新薬の人体に対する有効性と安全性、さらには副作用、禁忌症などを考慮して開発されます。これは厚生労働省が一定のルールに沿って認可、承認しております。このルールの流れが治験という作業です。もう少し詳しく説明しますと薬が多くの患者さんの治療に使われるようになるためには、「薬の候補」となる薬剤や物質を選び出し、動物やヒトで作用・効果・安全性などを調べます。

このうち有効性のある「薬の候補」を健康な成人や患者さんに使用して、効果や安全性、治療法(適正な投与量や投与方法)などを確認する目的で行われる「臨床試験」のことを「治験」といいます。

製薬会社は「治験」の結果をもって厚生労働省に申請し、薬として承認されてはじめて、多くの患者さんに安心して使われるようになります。

具体的には第1相試験として少人数の健康な成人志願者に対して、ごく少量から少しずつ「治験薬」の投与量を増やしていき、安全性を調べます。また、「治験薬」がどのくらい体内に吸収さ

れ、どのくらいの時間でどのように体外に排出されるかも調べます。次に第2相で少数の患者さんに「治験薬」を使ってもらいます。次に、効果が期待できそうな少数の患者さんについて、本当に病気を治す

効果があるのか、どのような効き方をするのか、副作用はどの程度か、また、どの程度の量や使い方が良いかなどを調べます。最後に第3相として多数の患者さんに「治験薬」を使ってもらいます。より多数の患者さんについて、効果や安全性を最終的に確認します。このような段階を経て厚生労働省が新薬として承認する仕組みになっています。

通常一つの新しい薬が世の中に出るまで10年近くかかると言われています。しかしながら今回の新型コロナウイルスに関しては世界中で急を要することから1年未満でなんとかしようと政府や厚生労働省が考えているということです。それまで皆様も手洗いや3密を控え何としてでも感染を予防し、さらにはお口からの新型コロナウイルスの侵入を防ぐために、う蝕や歯周病の予防であるセルフケアを行ない、またプロ(歯科医師・歯科衛生士)による口腔清掃を怠らないよう努めましょう。



「美容歯科」ではどんな治療を行うところなのか、あまり馴染みのない言葉かもしれません。私たちが行う治療では、形態の美しさ、色彩の美しさ、機能的な美しさの調和を図ることで、その人に合う自然な歯をつくりあげることが目標にしています。銀の詰め物を使用せず、コンポジットレジンと呼ばれる材料で行う虫歯の治療や、歯の自然な色の回復が可能なセラミックスを用いた治療、ホワイトニングによる変色歯の漂白などを中心としています。単純に美しく仕上げるだけでなく、よく咬める、長く使えることを重要としています。また、可能な限り歯を削らないというMI(Minimal Intervention)つまり最小限の侵襲という概念のもと治療を実践しております。

◇ダイレクトボンディング◇

最新の接着システムやコンポジットレジン(歯を修復する高分子材料)を用いることで、余剰に健康な歯質を削ることのない修復が可能になります。正中離開のような歯並びも、コンポジットレジンを用いることでほぼ削ることなく自然な歯並びに回復することができます。(本症例の場合[自費診療:28,600円] 経年劣化や破損、脱離が生じることがあります。)(Fig.1)



Fig.1 ダイレクトボンディング(術前・術後)

◇セラミックスによる修復◇

セラミックスを用いた治療を行うことで、自然な

歯の回復が可能になっています。従来の歯型を採得する方法ではなく、カメラで歯列を読み込み、パソコン上で詰め物を作製するデジタルデンティストリーといったセラミック治療も行っています。(Fig.2)



Fig.2 CAD/CAMシステム

◇ホワイトニング◇

加齢や生活習慣などによって黄色くなってしまった歯を白くするには、専門性の高いクリーニングや薬剤を用いたホワイトニングが有効です。歯の変色の原因を診断することがホワイトニングの成功に重要です。当科では日本歯科審美学会認定ホワイトニングコーディネーターの資格を持った歯科衛生士が術前検査から担当し、歯科医師とチームで適切なホワイトニングを実施します。

♡予防と管理♡

当科ではさまざまな検査を用いて、むし歯のリスクや口臭の評価などを数値化し、専門的なアドバイスを行っています。ご自身の口腔内環境を把握することがむし歯や歯周病の予防につながります。何かお困りのこと、ご希望ご興味のある方は、お気軽に4階美容歯科の歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。(Fig.3)



Fig.3 医局員集合写真

診療の流れ: 歯科麻酔科(歯科用局所麻酔薬アレルギー検査)

歯科麻酔科 講師 西村 晶子

歯科診療では、歯を削ったり抜いたり痛みを伴う処置が数多くあることから、口腔内に痛み止めの麻酔(歯科用局所麻酔薬)を注射して治療を行います。そのため、歯科用局所麻酔薬に対してアレルギー症状を持つ患者さんは、治療方法が大幅に制限されてしまうこととなります。一方で、この歯科用局所麻酔薬の注射によって起こる副作用には、アレルギー症状で見られる息苦しさ、皮膚の赤み、意識の消失以外にも、薬剤の効果によって心臓がドキドキしたり、注射そのものの鋭い痛みで気分が悪くなったりなど、さまざまな症状があります。そのため、「歯科で行う注射の麻酔で気分が悪くなったことがある」もしくは「食品や薬剤にアレルギーがあるから歯科用局所麻酔薬の使用についても不安がある」と言われる患者さんは少なくありません。

これまでの歯科用局所麻酔薬のアレルギー検査は、主にパッチテストや皮内テストでした。これらの検査はアレルギーを起こすことが疑われる薬剤(被疑薬)を患者さんの腕などに少量投与する方法で行います。皮膚の赤みや腫れといった皮膚症状の有無で判断する検査ですが、この検査そのものが重篤なアレルギー症状を誘発してしまう危険性がありました。

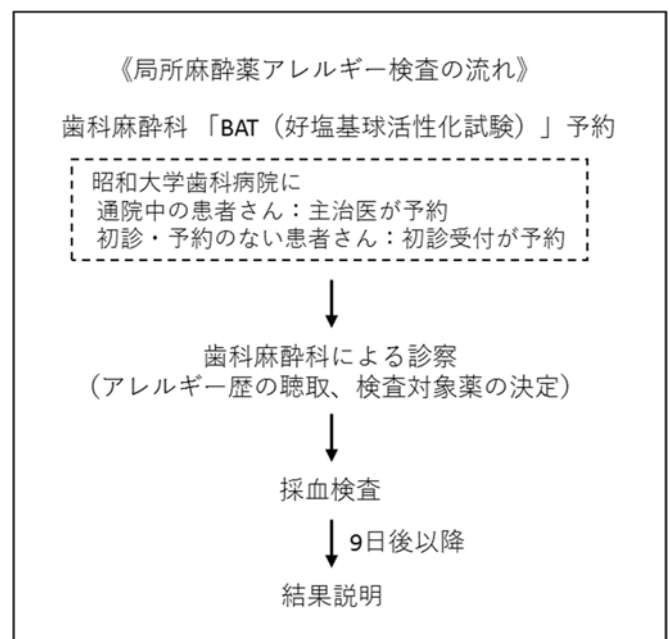
当院で実施している「好塩基球活性化試験(Basophil Activation Test; BAT)」は、食物・吸入物質・薬剤・毒液(ハチ・蛇等)などに対するアレルギー検査です。これまでの検査と大きく異なり、患者さんから採血した血液で検査することができます。体に被疑薬を投与しないので安全性が高く、必要な採血量も1回の検査につき5~10ml程度と少量です。その有用性は数多く報告されており、アレルギー疾患領域での診断検査や、周術期アナフィラキシーショック全国調査にも採用されています。

本検査は現在保険適用されていませんが、アナ

フィラキシーショックの既往がある患者さんにとって安全に原因薬剤を特定できる唯一の方法です。一方で、本検査は他の多くの臨床検査と同様に、結果には偽陽性(本来は陰性なのに陽性と判定されること)、偽陰性(本来は陽性なのに陰性と判定されること)が含まれる可能性があります。そのため、検査の実施にあたっては歯科麻酔科によるアレルギー歴の聴取等の診察を行い、検査結果とその後の対応についても説明します。

歯科用局所麻酔薬の注射に不安をお持ちの患者さんは、担当医を通して歯科麻酔科までご連絡下さい。また地域の開業歯科医院で治療を受けている患者さんは、アレルギー検査のみ受けていただくことも可能です。この検査に関わる検査費用は初診料・再診料も含めすべて自由診療となります。金額については検査対象薬の数により異なりますので、歯科麻酔科までお問合せ下さい。

歯科麻酔科は患者さん一人ひとりが安心・安全に歯科治療を受けていただけるようにお手伝いしております。局所麻酔薬の使用にご不安がある方は、歯科麻酔科までご相談ください。



患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p>炎天下のなか、病院について喉がカラカラなのに冷水器が使用中止だったり、検温もサーモグラフィがあるのに体温計で熱を測っていたりと、ナンセンスでおかしいことばかりだと思ふ。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。この度はご面倒をおかけし誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>冷水器につきましては、院内感染予防の見地から使用を中止させて頂いております。</p> <p>検温につきましても、エアロゾル感染のリスクが高い歯科治療の特性から、発熱している患者さんには原則治療を延期していただくようお願いをしております。より確実な検温のため、サーモグラフィと非接触体温計を用いて行っております。</p> <p>患者さんにはご不便・ご面倒をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">(事務課管理係)</p>
<p>入院初日のうどんと夜のハンバーグとてもおいしかったです。2日目のお粥もおいしく、「病院食＝まずい」のイメージと全く違いました。入院期間中ありがとうございました！</p>	<p>感謝のお手紙ありがとうございました。</p> <p>今後も栄養科スタッフ一同、入院中のお食事に満足していただけるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">(栄養科)</p>



編集後記

9月に入りましたが厳しい暑さは残り、台風の季節となりました。新しい生活様式の夏を皆様いかがお過ごしになりましたでしょうか。

患者さんには、検温や手指消毒など当院の感染対策に日々、ご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。引き続き万全の感染対策をおこなって診療していきます。夏から秋へ、コロナ禍の中ではありますが皆様の秋が実り多き日々になりますように。 (Y.N)

